



ひよこぐみだより

1月

子どもたちのニコニコな笑顔や元気な声と共に新しい年が始まりました。年があけてから少しずつ歩くことができるようになっていたり「しゅんしゅー」と呼んでくれる子も出てきたりして新年からとても嬉しい気持ちになりました。今年度も残りわずかとなりましたが、1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。

今月のひよこ組だよりでは、雪遊びとお部屋でのお友だちとの関わりの様子をお伝えします。

～冬み～つけた！～

窓から雪が積もる様子を興味津々に見る子どもたち。寒い朝には窓に結露ができていて不思議そうに触る様子も見られます。**冬ならではの自然に触れ、雪の感触を存分に味わって欲しいと思い、お部屋に雪を持ってきてみんなで触ってみることにしました。**ツツツと触る子もいれば手のひらでそっと触る子もいてそれぞれ自分のペースで冷たい雪の感触を楽しんでいました。おままごとのお皿やスプーンを用意すると嬉しそうに雪をお皿に盛り、食べる真似をしたり担任にどうぞと渡したりと可愛らしい姿も見られましたよ。



触ってみようかな



窓ぬれてる！



どうぞ



つめたいね



しゃりしゃりしてる



いえーい！



お外にも出て雪を楽しみました♪



雪の上歩くの楽しい～



～友だちだ～いすき♡～

最近、子どもたちの中で友だちへの関心が高まり、**同じおもちゃで遊んだり、泣いている友だちにそっと近づき顔をなでたりする姿が見られるようになりました。**この時期は友だちの存在に気づき、関わろうとする気持ちが育ち始める時期です。その一方で「かして」「いやだよ」などの思いを言葉で伝えることが難しく、気持ちが行動として出てしまうこともあります。保育者が一人ひとりの思いを受け止め、言葉をかけながら安心して過ごせるよう見守っていききたいと思います。

お昼寝から起きてまだ眠っている友だちの近くに行き、トントンと起こしています♡



おきて～



一緒に遊ぼ



ぎゅ～♡



どうぞ♡

みんなでおままごと♪



よしよし♡

ばあ～！

お友だちいた～！

